



## 松江都市圏における市民と連携したMMの継続と展開 ～持続可能な市民MMへの発展に向けた挑戦～

松江市公共交通利用促進市民会議・島根大学	飯野 公央
松江市役所	足立 保
国土交通省中国地方整備局松江国道事務所	西ノ原 真志
筑波大学大学院	谷口 守
京都大学大学院	神田 佑亮
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	尾高 慎二

# 松江市の紹介

- ・「全国で最もどこにあるか知られていない県」山口県
- ・「全国で47番目に有名な県」

島根県の県庁所在地

**「マイナー度はメジャー級！！」**

- ・1607年に城と城下町の建設が始まる。
- ・1611年に「城下町松江」が完成  
(今年は開府500年に向けた  
新たなスタート・挑戦の年)



どのようなビジョンを描くのか



# 松江市の紹介（歴史はあるが未来がない）



最後の歴史ネタ: 神話博  
これで歴史もなくなってしまった。



# 松江市の紹介（しじみ漁獲量日本一から沈没）



残された最後の切り札：**世界一の高齢社会を乗り切る知恵の創出**



# 発表の構成

1. 松江市の職場MMの取り組みの経緯
2. ノーマイカーウィークの継続実施と拡がり
3. 職場交通プラン「まつエコ宣言」の効果
4. 継続的な取り組みの効果



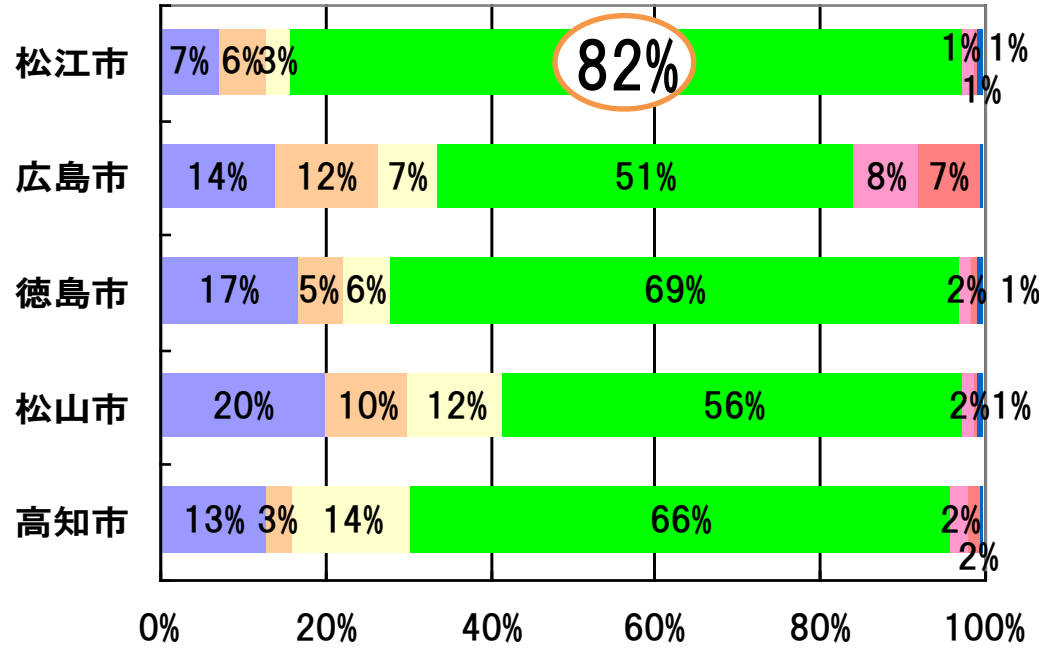
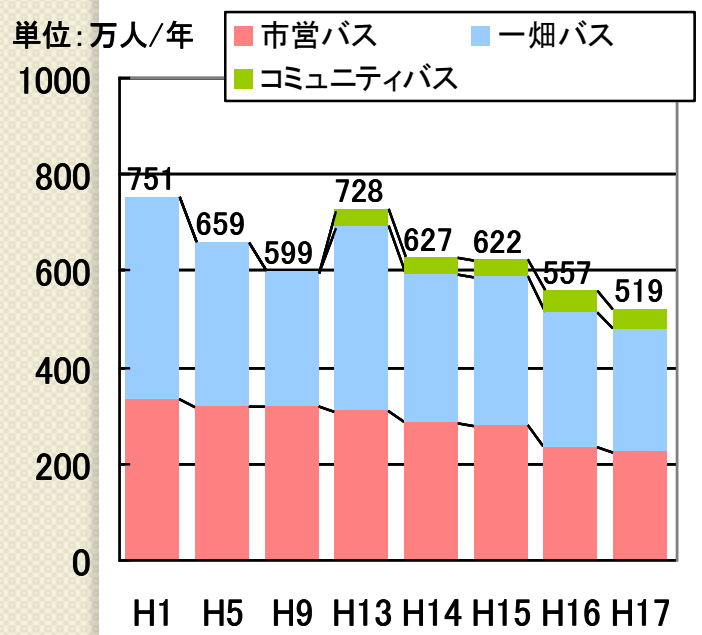
# 1. 松江市の職場MMの 取り組みの経緯

# 松江市の職場MMの取り組みの経緯(問題の所在)

- ・松江市は人口20万人(合併前は15万人弱)
- ・日本海側特有の曇天・雨、冬期の積雪、風が強く寒い(自然条件)
- ・工場、住宅団地、公共施設(学校等)の郊外移転によりマイカー依存度が極めて高い(まちづくりの構造的問題)
- ・マイカー依存度(意識)の世代間移転→いかに歯止めをかけるか

■事業者別バス利用者の推移

■通勤目的(平日)における分担率の都市間比較



出典:一畑バス、市営バス(交通局)、松江市

出典:H17全国都市交通特性調査

# 松江市の職場MMの取り組みの経緯(行政のビジョン)

## 将来都市像

中心市街地と郊外の生活拠点に暮らしの機能を集めながら、お互いを便利な『公共交通の軸』で結ぶまちづくりを目指します。

### 高次な都市機能



### 気軽に利用できる便利な乗換え【パーク&ライド】



### 暮らしが便利になる機能



誰もが使いやすい便利な公共交通  
バリアフリー、定時性、適切な料金



中心市街地と地域拠点を結ぶ便利な公共交通



生活拠点と集落を結ぶ便利な公共交通





## MMを通じた住民の意識改革と行動変容に向けた継続的な取り組み

### 第1歩：事業所の方々と連携したクルマを控える取り組みの経緯

※MM：モビリティマネジメント、クルマを控える取り組みを指します

平成18年度：行政職員を対象としたMMの実施

一畑電車利用促進MMの実施

平成19年度：事業所を対象とした「まつエコ宣言」の展開

- ・組織的プログラム、個別の働きかけによる  
自発的な職場交通プラン策定をお願い

平成20年度：職場交通プラン策定事業所の拡大

平成21年度：一斉ノーマイカーウィーク実施（第1回）

- ・10月下旬の5日間実施

平成22年度：一斉ノーマイカーウィーク実施（2回目）

- ・高校生MM（片道定期券よりも通学補助へ）、バス100円、特急・快速電車の臨時停車等の施策を実施

平成23年度：一斉ノーマイカーウィーク実施（3回目）

- ・民間の事業者とのタイアップ
- ・継続・定着効果の確認



## 2. ノーマイカーウィーク の継続実施と拡がり



## ■ 松江市一斉ノーマイカーウィーク実施状況

	平成21年	平成22年	平成23年
期 間	10/19～23(月～金)	10/18～24(月～日)	10/17～21(月～金)
日 数	平日5日間	1週間	平日5日間
転換促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P&amp;R駐車場</li> <li>・電動アシスト付 自転車モニター</li> <li>・レンタサイクル</li> <li>・バス停での本貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P&amp;R駐車場</li> <li>・電動アシスト付 自転車モニター</li> <li>・レンタサイクル</li> <li>・サイクル&amp;Rモニター</li> <li>・全路線バス100円</li> <li>・JR臨時ダイヤ</li> <li>・特急料金無料(一部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P&amp;R駐車場</li> <li>・電動アシスト付 自転車モニター</li> <li>・参加者への 特典提供</li> <li>・大規模商業施設に よる啓発活動</li> </ul>
参加事業所数	約100事業所	約100事業所	約100事業所
参加率※	約16.2%	約22.5%	約20.2%
延べ参加 人数(平日)	約3,200人	約3,200人	約2,600人

※参加率＝ノーマイカー参加者数／マイカー通勤者数

# ノーマイカーウィークの継続実施と拡がり

## ■ 連携体制

### 松江市一斉

**主催：** 松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、鳥根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、国土交通省中国運輸局鳥根運輸支局、松江商工会議所、(社)鳥根県旅客自動車協会

**共催：** 一畑バス(株)、松江市交通局、日ノ丸自動車(株)米子支店、西日本旅客鉄道(株)米子支社、一畑電車(株)

**後援：** まつえ北商工会、まつえ南商工会、東出雲町商工会、まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、鳥根県警察本部、松江警察署、松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、一畑電気鉄道(株)、連合鳥根、鳥根県交通運輸産業労働組合協議会、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、朝日新聞松江総局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、毎日新聞松江支局、中国新聞社、日本経済新聞社松江支局、山陰中央新報社、鳥根日日新聞社、新日本海新聞社松江支社、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰(順不同)

**たまにはクルマを休んでみませんか？**

クルマからのCO<sub>2</sub>削減や交通渋滞の緩和、バス・鉄道の利用促進に向けて、過度なクルマ利用を見直すきっかけづくりの取り組みです。地球にエコ カラダにエコ おサイフにエコな取り組みに是非ご参加ください。

・ノーマイカーウィーク期間中、市内14箇所で開催のパーク＆ライド駐車場・駐輪場が、無料でご利用できます！  
※詳しくはホームページをご覧ください。

■マイカーからの転換交通手段

自転車	24%
バス	21%
徒歩	19%
電車	13%
新渡	12%
バイク	11%

昨年(2020年)のノーマイカーウィークでは、約100事業所、延べ3,200人が参加し、マイカー以外での通勤・通学を行いました。

詳しくはホームページをご覧ください。  
運動でエコな生活。松江市。http://www.city.matsuyama.jp/units/kyosha/nomikaac/nomikaac.html

**主催：** 松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、鳥根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、国土交通省中国運輸局鳥根運輸支局、松江商工会議所、(社)鳥根県旅客自動車協会

**共催：** 一畑バス(株)、松江市交通局、日ノ丸自動車(株)米子支店、西日本旅客鉄道(株)米子支社、一畑電車(株)

**後援：** まつえ北商工会、まつえ南商工会、東出雲町商工会、まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、鳥根県警察本部、松江警察署、松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、一畑電気鉄道(株)、連合鳥根、鳥根県交通運輸産業労働組合協議会、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、朝日新聞松江総局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、毎日新聞松江支局、中国新聞社、日本経済新聞社松江支局、山陰中央新報社、鳥根日日新聞社、新日本海新聞社松江支社、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰(順不同)

主催は、  
行政(国・県・市)＋  
「松江市公共交通利用  
促進市民会議」  
平成23年度から、さらに  
＋「松江商工会議所」  
＋「(社)鳥根県旅客  
自動車協会」

## ■参加特典の提供

- ・ 地元商店と連携し、参加特典を提供（Win-Win関係）
- ・ 1 2 事業所が協賛（全事業所が今後も協力可能）

関係者間に  
**利益が広がる**  
仕組み作り

**ノーマイカーウィーク 参加特典**

ノーマイカーウィークに参加していただいた方限定!!

平成23年10月17日(月)~11月30日(水)の間、本参加証を下記協賛店で提示すると、お得な割引やプレゼントがもらえます! ぜひ、ご利用ください。

※特典内容は、詳しくは下記をご覧ください。  
※参加証は、1枚につき1店舗までご利用いただけます。  
※協賛店は、掲載でもご利用いただけます。

**参加証**

500%割引  
1人1,000円以上ご飲食で 5%割引

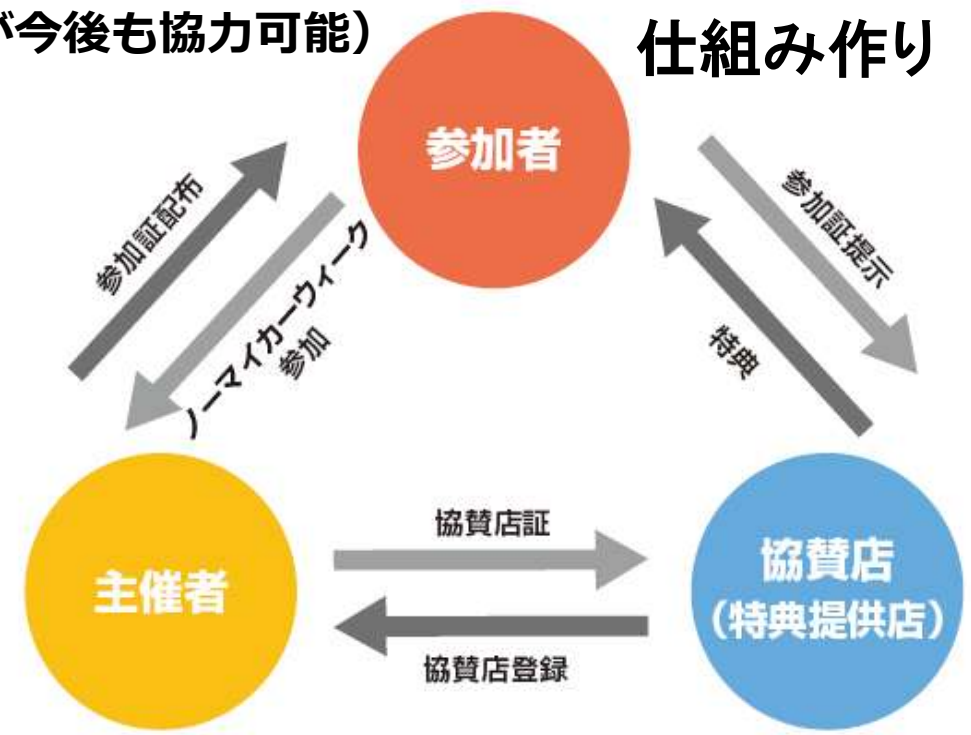
一品サービス 生ビール 又は ソフトドリンク1杯

1ドリンクサービス 1ドリンクサービス

デザートやに豆腐のサービス 地元産そばを 5%割引

生ビール小グラス1杯サービス 10%割引

10~20%割引 10%割引



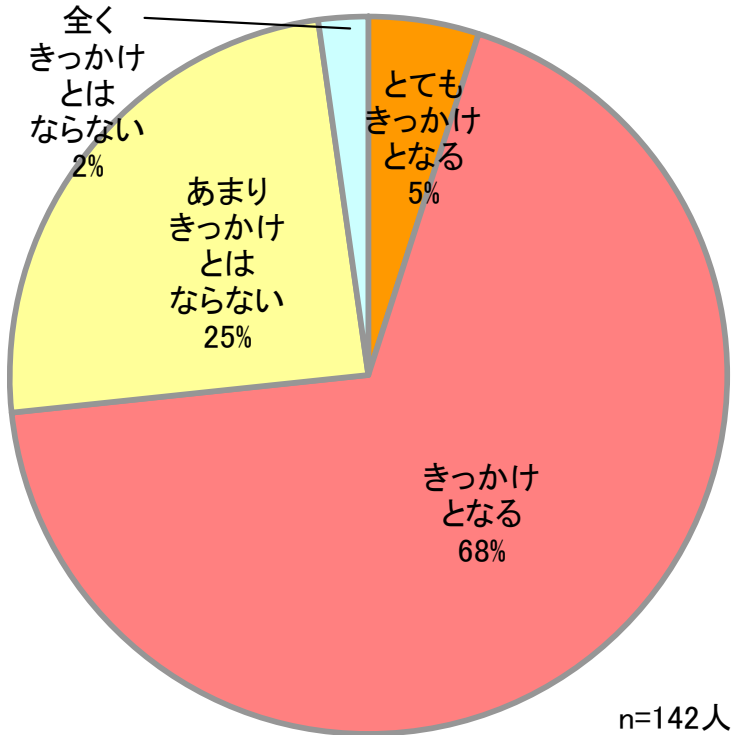
参加特典提供のコンセプト(Win-Win関係)

利用者 (従業員)	・ 特典を利用することで、割引・優待を受けることができる
提供者 (協賛店)	・ 協賛店として、利用者への宣伝・PRとなる ・ 特典をきっかけとした集客により、売上増へ繋がる
主催者 (行政)	・ ノーマイカーの取り組みが促進、継続され渋滞緩和等へ寄与

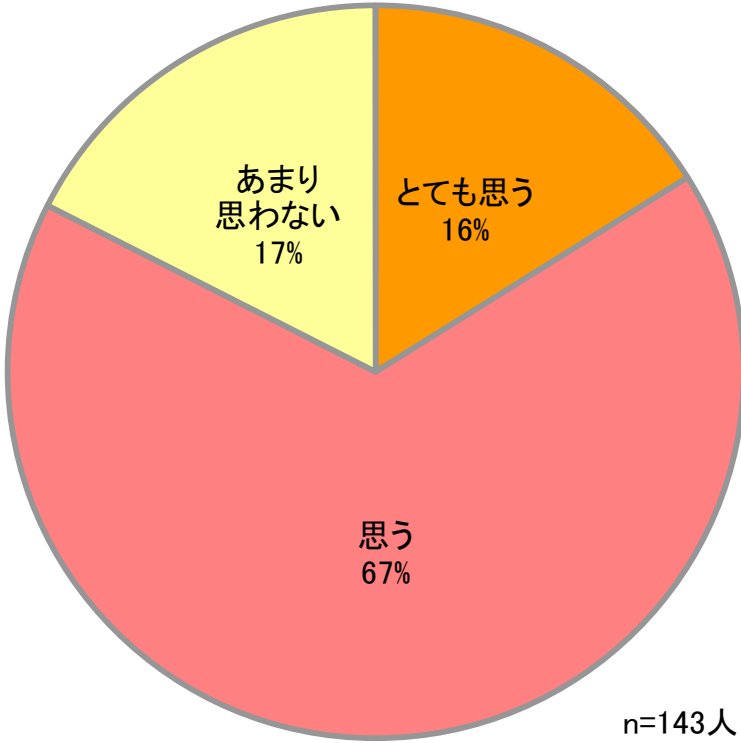
## ■参加事業所従業員の評価

- ・ 73%が動機づけとなると回答
- ・ 83%が今後も継続を希望

### ■ノーマイカーの動機づけとなりますか？



### ■継続して欲しいですか？



※事後の従業員アンケート結果より(回答者: 148人)

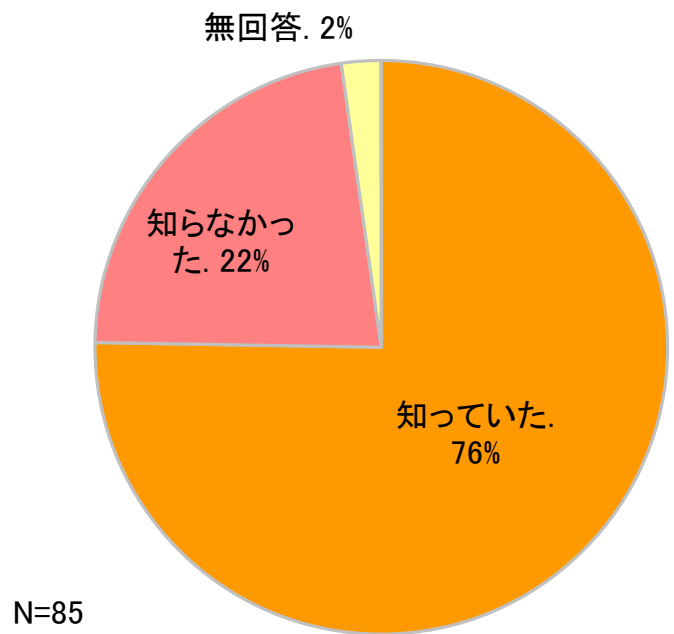




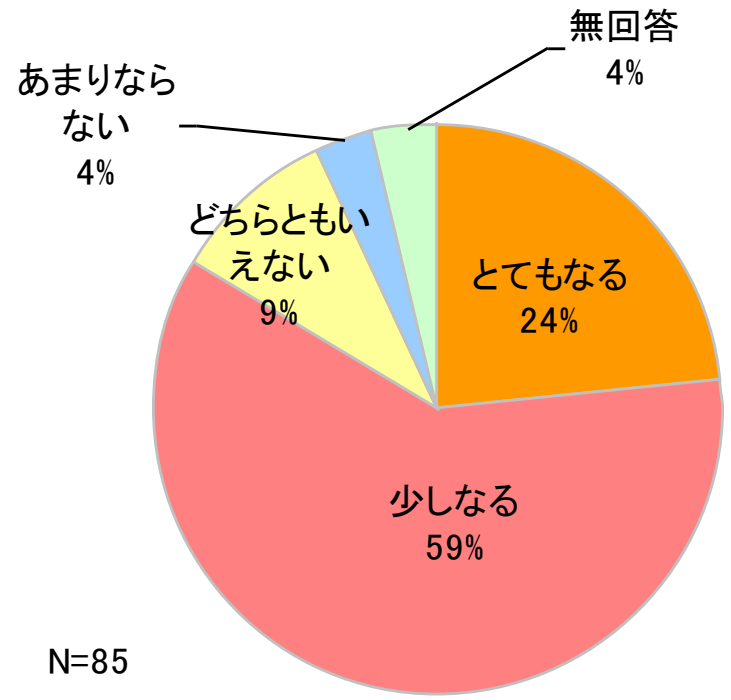
## ■ 来場者アンケート結果

- ・ ノーマイカーウィークの認知度は76%と高い。
- ・ バス利用者への応援特典の配布で83%がバス利用の動機づけとなると回答


■ ノーマイカーウィークを知っていますか？



■ 応援特典のバス利用の動機づけ



**商業施設側の意識変化、「いっぱいにするべきは駐車場ではなく店内！」**



## 3. 職場交通プラン 「まつエコ宣言」の効果

## 職場交通プラン「まっエコ宣言」

松江市は大規模な事業所が少なく、中小規模の事業所が多いことから、個別の事業所にアプローチ  
**(迅速な意思決定が可能)**

●「ビジョン」、「体制」、「戦術」の明確化**(負担感の払拭)**

●「何を」、「どんなレベルで」書けばよいか記入例を通じ情報提供**(安心感と共感)**

●初回訪問時に記入例と様式を手渡し

●まずは、  
**「できることから、  
 できるペースで、  
 できる人から」**

CO2(二酸化炭素)や渋滞を減らす「まっエコ宣言」をして実践しましょう。  
 暮らしのなかのちょっとした心がけを続ければ、ガソリンの使用量とともにCO2の排出量が減り、環境やあなたのお財布にも優しい生活を送ることができます。  
 できることから、できるペースで、わずか4,5人の取り組み内容でも結構です。  
 「まっエコ宣言」の作成が、各社における具体的な取り組みを検討され、実行されるの一助になれば幸いです。

(企業名) \*\*\*\*\*会社 松江支社

### 1. 職場交通の現状

(例) 事業所に勤務する従業員●●人のうち●●人(●●%)がクルマ通勤している。  
 (例) クルマ通勤者は、渋滞に巻き込まれるなど公共交通利用者比べて遅刻が多い。  
 (例) 業務移動で2km以内の短い移動でもクルマ利用をしている従業員が多い。 等

### 2. 今後の具体的な取り組みと目標 \*宣言後、取り組み状況により内容を変更することも可能です。

メニュー	具体的な取り組み	目標
(例) ノーマイカーデー	(例) 梅雨水曜日には極力クルマ以外での通勤を呼びかけます。 (例) 雨れた日は極力クルマ以外での通勤を呼びかけます。 (例) 春・夏(4月~9月)は極力クルマ以外での通勤を呼びかけます。 等	(例) ノーマイカーデー実施日は、クルマ通勤者の1割(●●人)の公共交通・自転車・徒歩等への転換を目指します。 等
(例) 時差出勤	(例) 総務部において、始業時間を前後の時間に調整できるようにします。 等	(例) 時差出勤の導入により、総務部のピーク時のクルマ通勤者を2割(●●人)減らします。 等
(例) 業務移動での自転車利用の推進	(例) 2km以内の業務移動では自転車等を利用するように呼びかけます。 等	(例) 業務移動での2km以内の移動の9割をクルマ利用以外に転換を図ります。 等
(例) 駐車場の見直し	(例) 事業所内駐車場の通勤における利用を原則として禁止し、クルマ以外での通勤を促します。 等	(例) クルマ通勤者の2割(●●人)を公共交通・自転車・徒歩等への利用転換を図ります。 等
(例) エコドライブ	(例) 従業員にエコドライブ啓発冊子を配布し、教育を実施します。 (例) 社有車にエコドライブステッカーを貼付し、従業員の取り組みを促します。 (例) 毎月のエコドライブ取り組み状況を従業員口とリーナーが取り返るためのアンケートを実施します。 (例) 社有車の低公害車の導入を図ります。 等	(例) 通勤、業務移動における従業員のエコドライブ実施率100%を目指します。 等

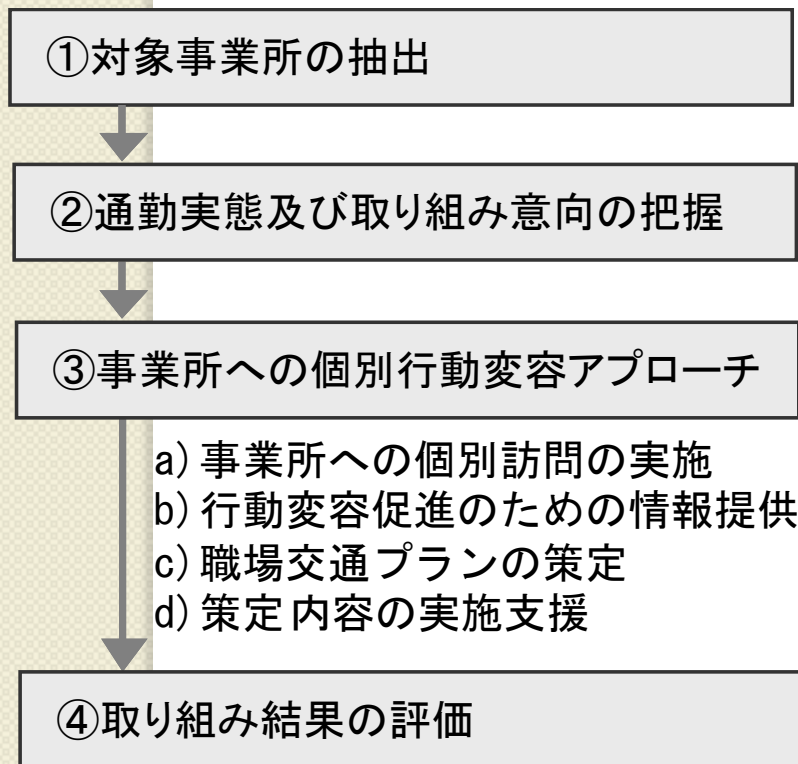
### 3. 実施体制

実施責任者	*****会社 松江支社 支社長 *****
担当者	*****会社 松江支社 総務部 課長 ***** 係長 *****
連絡先	TEL:0852-***** FAX:0852-*****

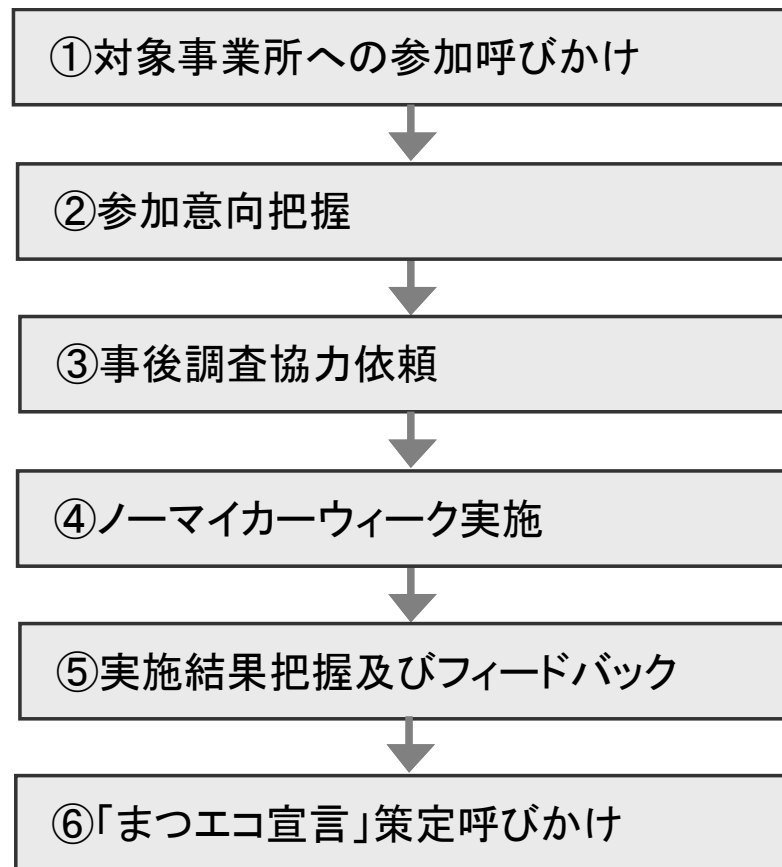
今後ホームページや行政広報誌等で「まっエコ宣言」を送付下さった企業を協力企業として広報する予定です。  
 各社の具体的な取り組み内容を紹介する場合には、予め許可を頂いた上で紹介致します。

## ■ 職場MMの実施手順

### ▼ 基本実施手順



### ▼ ノーマイカーウィーク実施以降の手順



**企業自らブラッシュアップ**

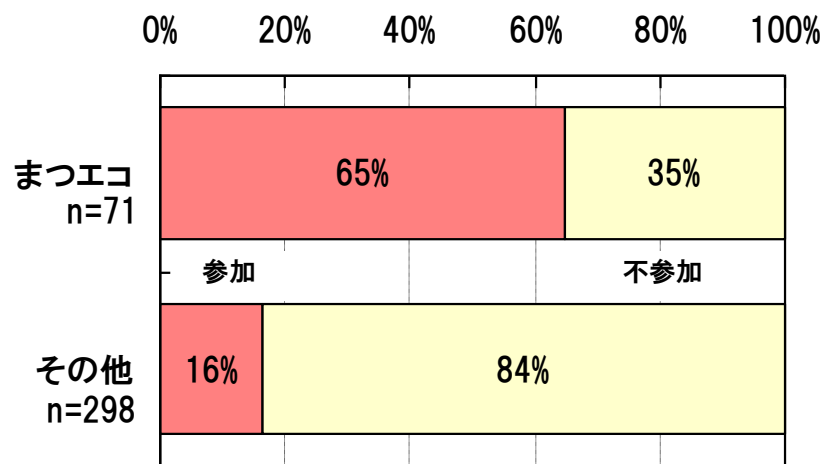
## ■まつエコ宣言策定有無別取り組み状況

- ・ノーマイカーウィーク参加割合が高い

### 【参加事業所を対象】

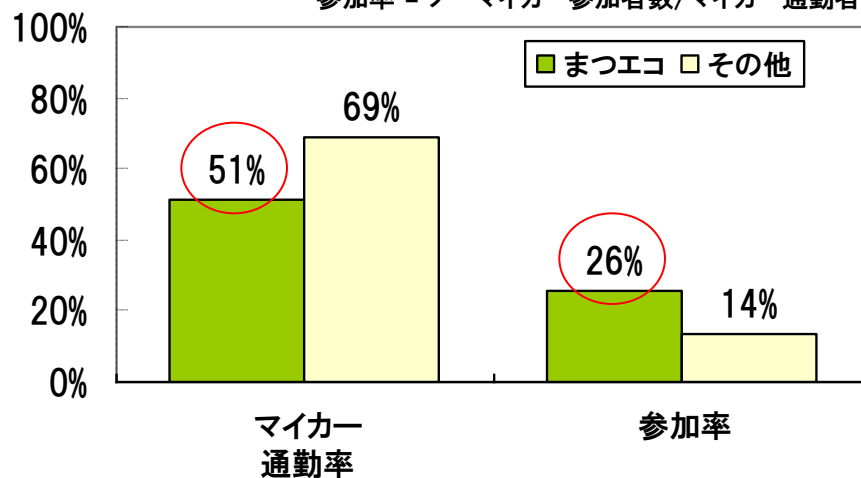
- ・マイカー通勤率が低い
- ・ノーマイカー実施率も高い

▼ノーマイカーウィーク参加状況



▼ノーマイカーウィーク取り組み状況

参加率 = ノーマイカー参加者数 / マイカー通勤者数

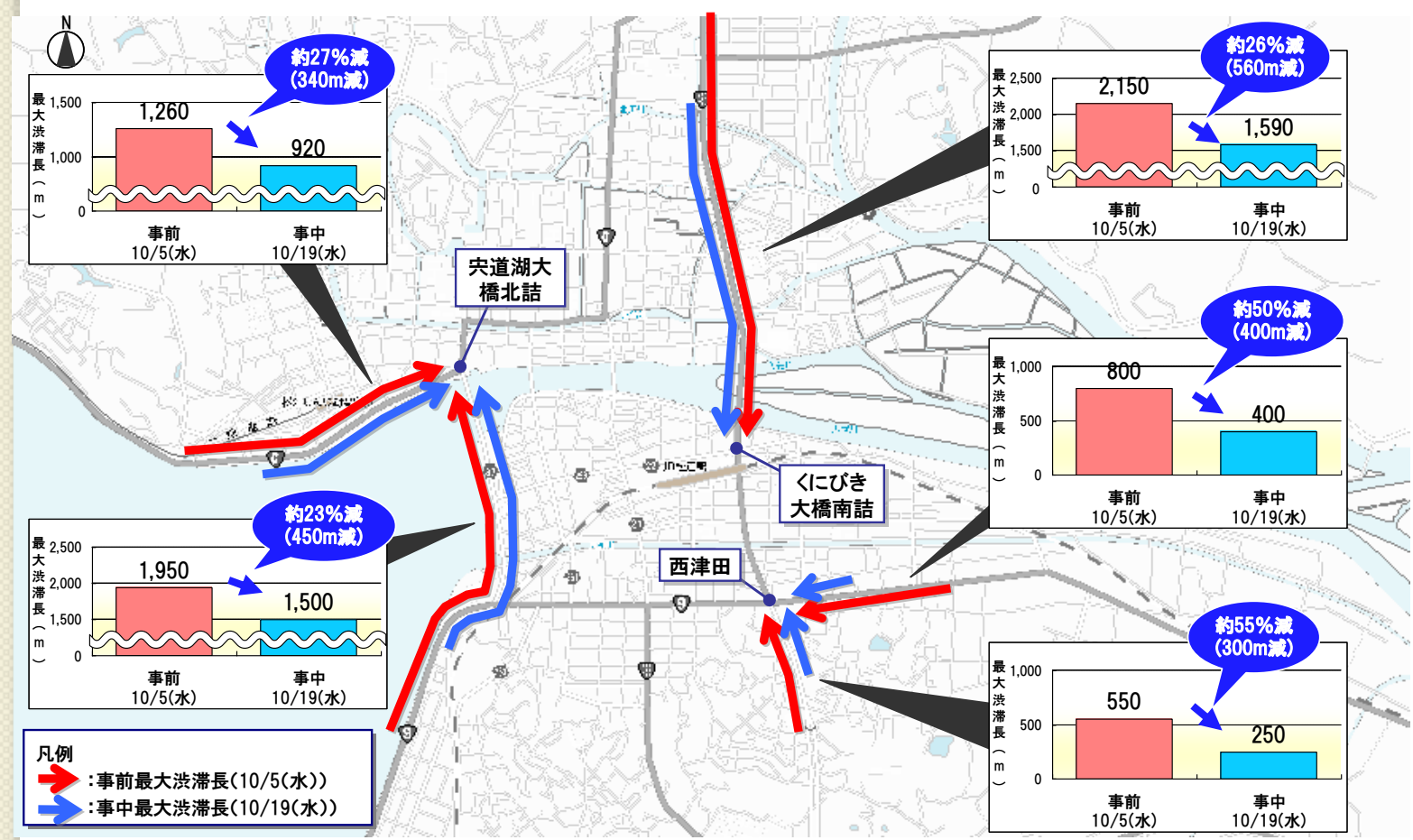




## 4. 継続的な 取り組みの効果

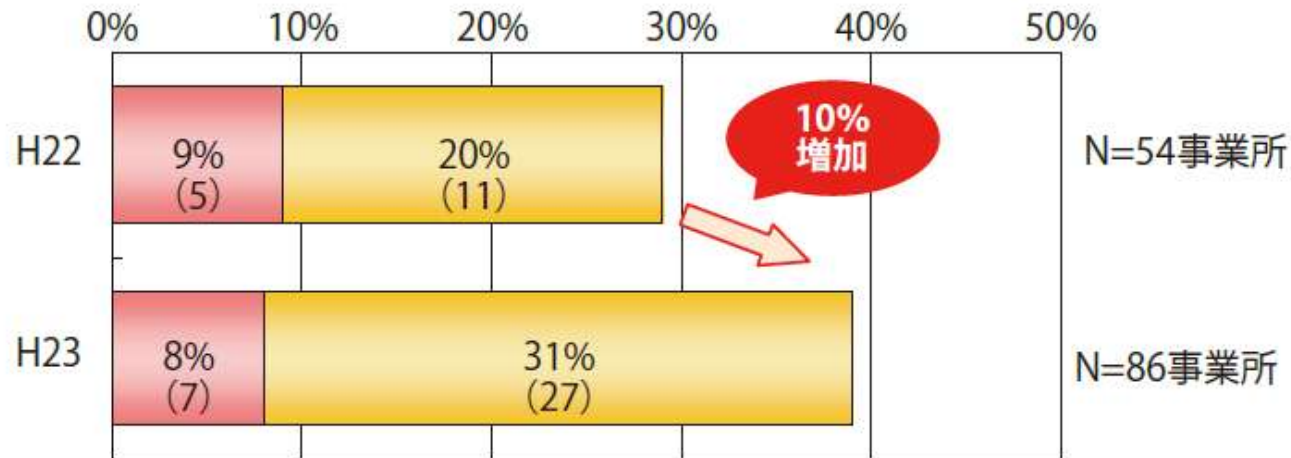
## ■平成23年ノーマイカーウィークの効果

### ・主要渋滞交差点において渋滞緩和(事前・事中比較)



## ■ ノーマイカーウィーク継続実施の効果（行動変容）

- ・ ノーマイカーウィークをきっかけとして取り組みの定着化促進



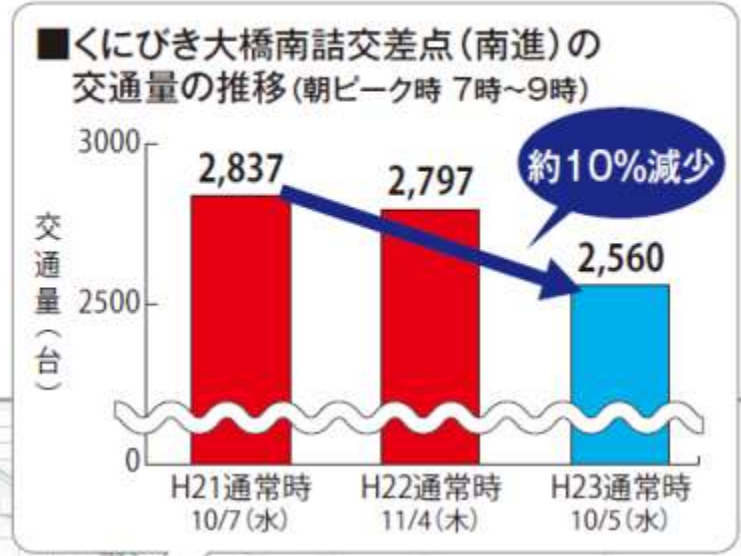
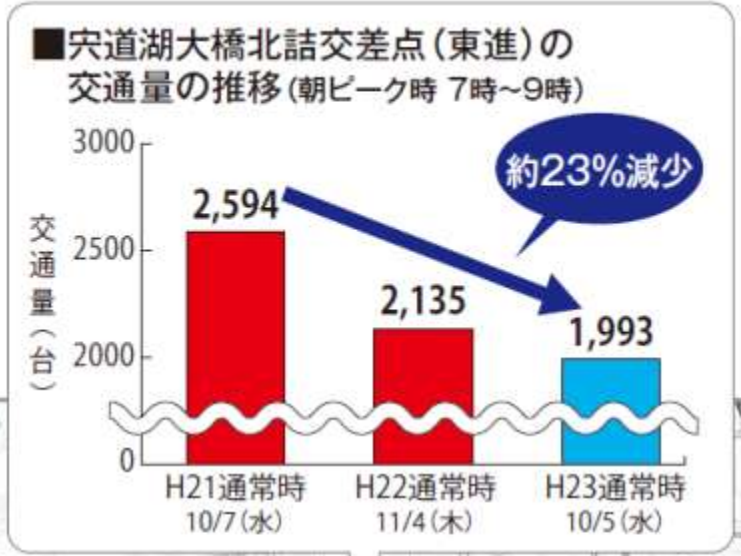
- クルマでの通勤をやめた人がいる
- 時々、クルマ以外で通勤する人が増えた

( )内の数字はご回答いただいた事業所数



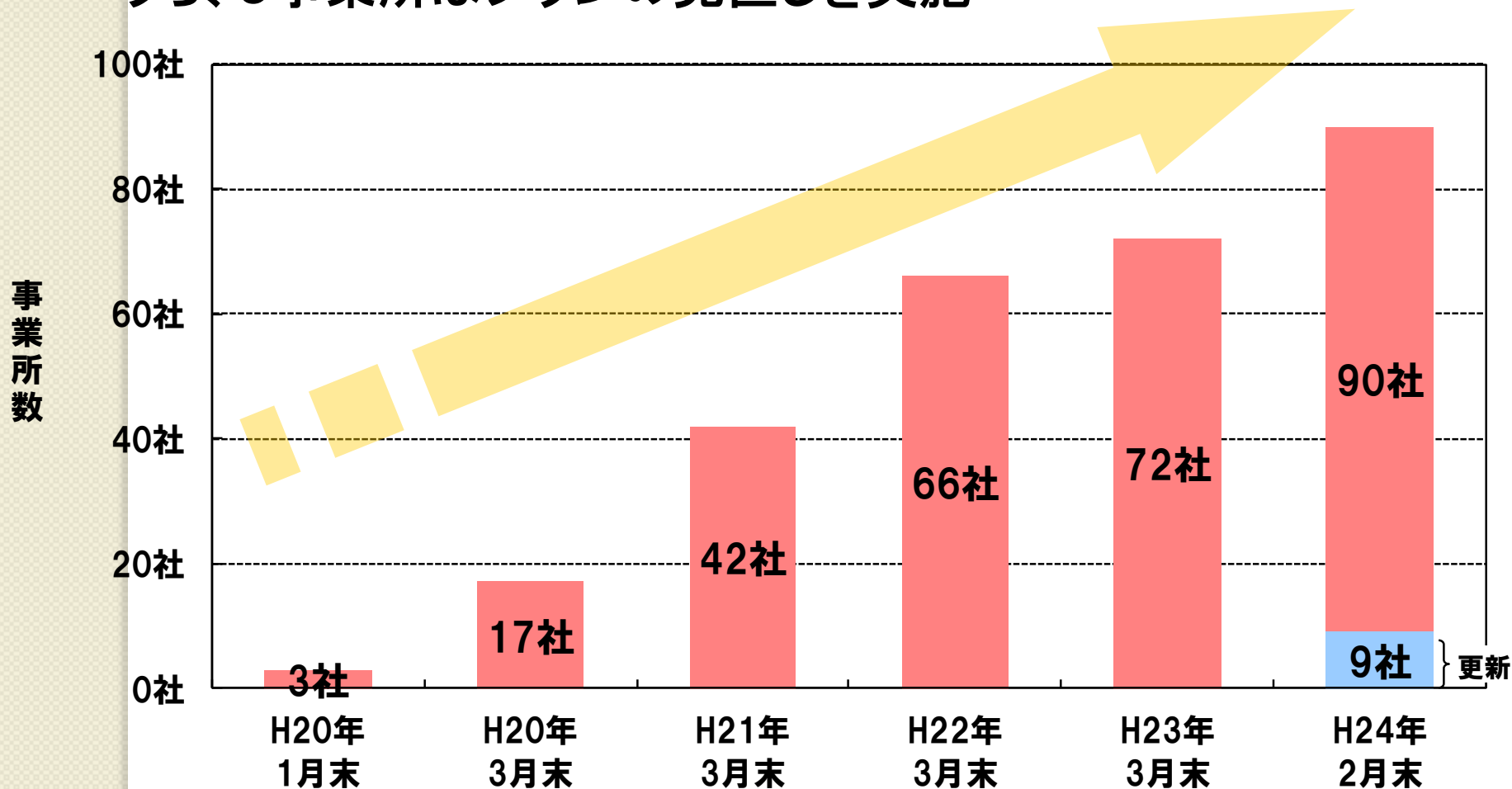
## ■ ノーマイカーウィーク継続実施の効果(交通量)

- ・ **通常(ふだんの交通状況)**の朝ピーク時交通量を比較
- ・ 交通量が10~23%減少

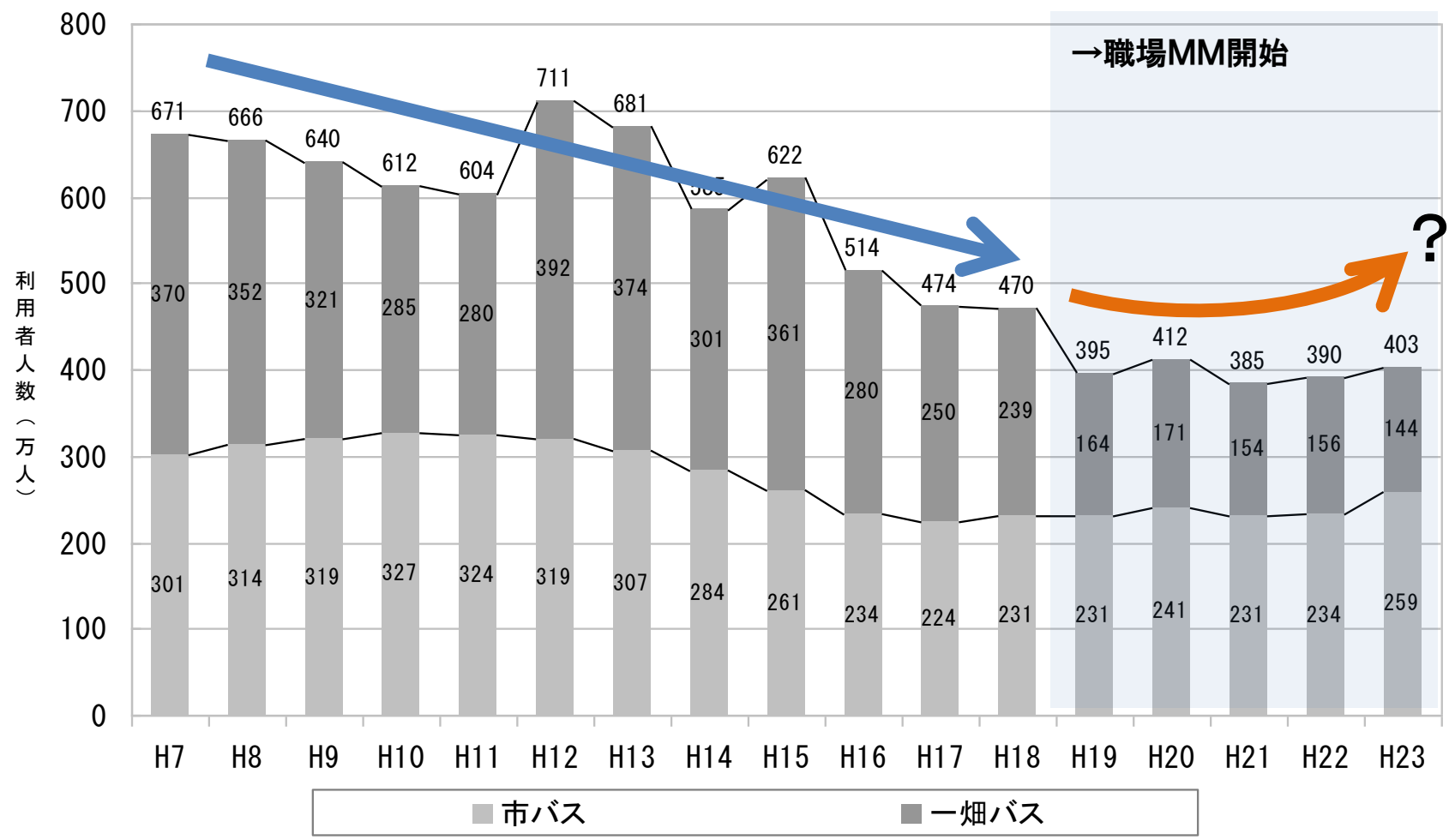


## ■「まつエコ宣言」策定事業所数(現在)

- ・「まつエコ宣言」策定事業所は90事業所まで順調に増加
- ・うち、9事業所はプランの見直しを実施



今後も継続的に展開し、  
 渋滞緩和、環境の改善、公共交通の利用者が進み、  
 「住んで誇れる」松江を市民と一緒に実現を目指す！



# ノーマイカーウィークに3年連続 参加した事業所など27事業所を 表彰！

「ノーマイカー」  
参加事業所表彰  
松江市  
松江市は12日、市公共  
交通利用促進市民会議  
(会長・飯野公央島根大)

法文学部准教授、18人）  
などと2009年度に始  
めた「市一斉ノーマイカ  
ーウィーク」に、積極的



松浦正敬市長（右）から表彰状を受け取る事業所の社員

に参加している企業や事  
業所などを表彰した。  
ノーマイカーウィーク  
は、バスや自転車、徒歩  
での移動を促し、CO<sub>2</sub>排  
出量の削減や渋滞緩和に  
つなげる狙いで、毎年10  
月に5〜7日間実施。3  
年間で延べ320（実数  
152）の事業所などの、

# 「縁結び」、「だんだん」の松江市で職場と地元商店等と連携し、MMを推進した結果、

- 「はじめよう通勤でまつエコ」や「ノーマイカーウイーク」でつながった3年連続100事業所、去年は延べ約2,600人が参加
- 参加後のフィードバック、職場交通プラン策定後のフォローの継続により、「マイカー依存意識の転換」のきっかけに(継続こそ力)
- 松江市公共交通利用促進市民会議と行政機関、地元商店、参加事業所の絆を大切にした地域活性化に挑む連携体制構築(協力者の発掘)
- 民間企業の動きに呼応する商業者(特典付与)、交通事業者(通学補助、高齢者半額割引)→つながりの連鎖が芽生えつつある
- マイカー依存意識の世代間移転を断ち切る可能性→子どもへのアプローチの必要性
- MMを通じた社会関係資本(ソーシャルキャピタル)の再構築

大人  
↓  
地域  
社会

↓  
次世代

↓  
交通まちづくり  
の世代間移転

↓  
・MMを通じて誰もが安心して暮らせる成熟社会  
の実現に向けた挑戦→次の100年のまちづくり



**ご清聴**

**ありがとうございました**